

平成30年度事業報告

平成30年度は、県連合会と一体となり労働者派遣事業に積極的に取り組みました。また、事務所の移転について理事会を断続的に開催し、旧中海保育所に令和元年度内に移転することになりました。以下、平成30年度事業については次のとおり報告します。

1 会員の状況

年度当初の会員数は1,030名、年度中における入会が111名、健康その他の理由で退会した会員は135名で年度末会員数は1,006名となり24名減少いたしました。

2 事業実績

請負では、学校校務代行業務が請負から派遣に変更となったことから、配分金233,516,698円（同271,029,933円 13.8%減）、契約金額270,019,951円（同310,776,320円13.1%減）といずれも前年度を下回りました。

一方、労働者派遣事業では、派遣会員賃金133,467,438円（同92,885,008円 43.7%増）、派遣手数料13,347,665円（同9,275,447円 43.9%増）と前年度を大幅に上回りました。

3 就業の状況

就業実人員は830名（対前年度840名 対比1.2%減）、就業延日人員88,766名（同89,565名 0.9%減）、年間就業率82.5%（同81.6% 0.9%増）となりました。

4 第3次中期計画の推進

センター事業の発展を図るため、平成30年度から令和4年度迄の5年間の計画を着実に推進しました。

会員数	1,006名	／	平成30年度末目標	1,040名
就業率	82.5%	／	同	81.0%
契約高	4億3千9百34万円	／	同	4億4千万円

5 就業機会の確保と普及啓発事業の推進

(1) 就業機会の確保

- ① 「困ったことがあったらまずシルバー」の合言葉により仕事の開拓に当たりました。
- ② 就業を通じて口コミで仕事の開拓に当たりました。
- ③ 会員就業開拓部会員が企業訪問し事業の周知と就業機会の確保に当たりました。
- ④ お客様満足度調査によりお客様の思いを汲み取り、継続して発注いただけるように努めました。
- ⑤ ホームページで仕事の依頼を受付し、お客様の利便性を高めました。

(2) 普及啓発事業の推進

- ① 市広報や報道機関へ資料の提供を行ないました。
- ② 各種イベントに参加しセンター事業を普及啓発いたしました。
- ③ 「会員だより」を隔月発行するとともに、「生きがい」を年2回発行し全世帯に配布いた

しました。

- ④ ホームページやフェイスブック等によりPR活動を展開いたしました。
- ⑤ シルバー感謝祭や講習会においてセンター事業を周知いたしました。

6 入会促進

- ① 毎月第2・第4水曜日にセンターにおいて入会説明会を開催いたしました。
- ② ホームページの仮会員登録により、入会希望者の利便性を高めました。
- ③ ハローワークこまつにおいて、1月より出張入会説明会を月2回開催しました。

7 会員参加の活動推進

(1) 地域班活動

6つの地区において10月に地区奉仕作業（90名）、3月に地区交流会（156名）を実施し地域貢献と会員同士の交流と親睦を図りました。

(2) 職群班活動

職群毎に技能の向上、安全就業及びお客様満足度調査を反映した仕事の取り組み方等について、3月に72名が参加し検討いたしました。

(3) 専門部会活動

5つの部会毎にそれぞれの課題について検討いたしました。

8 安全就業の推進

- ① 県連合会と連携し安全研修会を9月に開催し、30名が安全就業意識を高揚させました。
- ② 安全就業標語の募集を通じて安全意識の高揚を図りました。
- ③ 請負で傷害事故は2件(前年度4件)、賠償責任事故は3件(前年度10件)と減少しました。また、派遣では傷害事故は5件（前年度3件）、賠償責任事故は2件（前年度1件）と若干増えました。

9 適正就業の推進

- ① 適正就業基準に基づき就業機会の公平化に努めました。
- ② ローテーション就業を推進し多くの会員が就業出来るよう工夫いたしました。
- ③ 労働者派遣事業を県連合会と連携し推進いたしました。

10 高齢者活用・現役世代サポート事業の実施

人手不足分野に会員を派遣し地域や事業所の要望に応えました。

11 各種事業の推進

(1) シルバー感謝祭の開催

平成30年10月28日にせせらぎの郷において感謝祭を組織を挙げて開催し、シルバー事業の啓発を図りました。

(2) 独自事業の推進

- ① 里っ子教室に小学3・4年生38名（前年度50名）を迎え、家庭や学校では体験できない小松の素晴らしい自然や伝統文化に触れる事業を実施いたしました。
- ② しめ飾りを作り、939,145円（前年度986,795円）を売り上げました。
- ③ こまつアズスクエア前広場で野菜を販売し、また、タウンオアシスで包丁研ぎを行い、164,

800円（前年度524,400円）を売り上げました。

- ④ 和服リフォーム品等を道の駅、空の駅、海の駅やイベント等で販売し、953,241円（前年度860,919円）を売り上げました。
- ⑤ スマイルシニア農園で栽培した野菜や加工品を道の駅、空の駅、せせらぎの郷や感謝祭等のイベントで販売し、1,125,738円（前年度866,757円）を売り上げました。

（3）賛助会員制度の推進

65団体から理解と協力が得られ、就業機会の拡大及び自主財源の確保に繋がりました。

（4）小松市高齢者生産活動センターの運営

九谷焼絵付・日本画・九谷焼やきもの・絵手紙教室を指定管理者制度により運営いたしました。

（5）せせらぎの郷の運営

- ① せせらぎの郷を指定管理者制度により運営いたしました。
- ② ビュッフェ・こまつせせらぎに18,399人のお客様をお迎えいたしました。

12 受注業務の迅速化

お客様からの信頼を得るため、受注から就業、請求に至る迄の迅速化と正確性を高めるため会員と一体となって取り組みました。

13 財源の確保

事業運営に必要な財源を確保するため、節約に努めました。

14 事務所の移転について

センターの事務所が入っている小松市高齢者生産活動センターが平成31年3月31日付で廃止となり、移転先について理事会において断続的に市の施設をそれぞれ比較検討した結果、旧中海保育所を改修し、令和元年度内に移転することになりました。